

ケース スタディ : Nortel 61C PBX から Cisco IP Telephony への移行

目次

[はじめに](#)

[移行プロセス](#)

[Nortel PBX スイッチからのキー情報の収集](#)

[PRI カードの追加と設定](#)

[ルート・リスト・インデックス \(RLI\) の作成](#)

[実装の検証](#)

[Nortel テスト](#)

[DID 番号リングがNortel フォンを通してCisco IP Phone にリングしていることを確認](#)

[顧客データベースプリントアウト](#)

[印刷ルーチン](#)

[ロード 20 印刷ルーチン](#)

[ロード 21 印刷ルーチン](#)

[ロードs22 印刷ルーチン](#)

[PRI メンテナンスおよびステータス](#)

[PRI およびDTI トランク情報コマンド](#)

[システム・クロック・コントローラ および ステータス コマンド](#)

[ロード 96 : Dチャンネルの診断コマンド](#)

[ロード 60 : DTI およびPRI 診断](#)

[ロード 14 : トランク・データ・ブロック](#)

[ロード 86 : 電子スイッチドネットワーク](#)

[関連情報](#)

[はじめに](#)

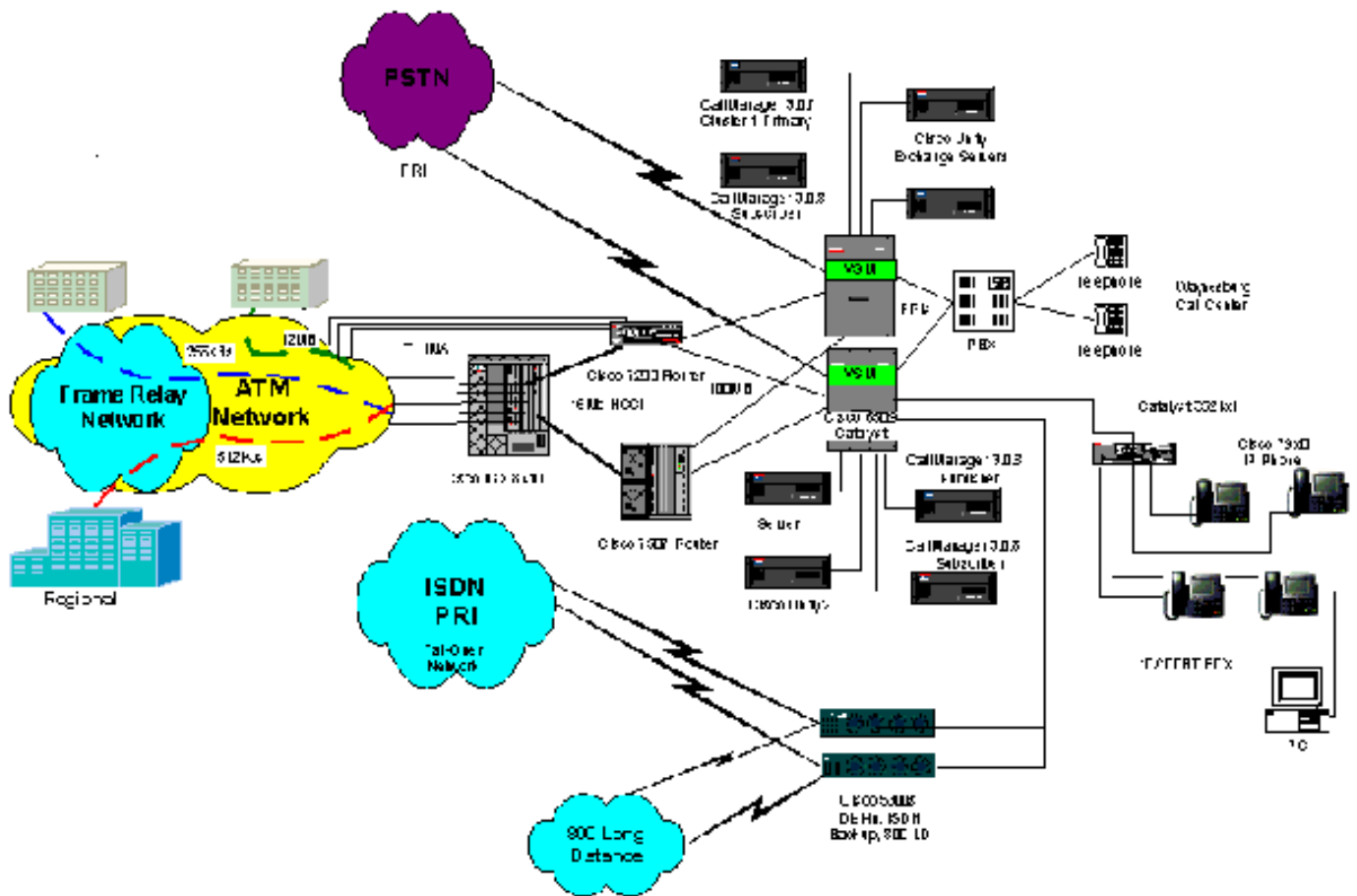
このケース スタディでは、Nortel Option 61C 構内交換機 (PBX) から Cisco CallManager にユーザを移行するために行う手順を説明します。このケース スタディの情報は、Generic Services, Inc. という企業の音声システム アーキテクチャおよび要件を使用して取得されています。情報は、IP テレフォニー導入のパイロット フェーズの間に収集されました。このドキュメントでは、経済的要因については説明していません。また、ボイス メール、ビデオ、またはアプリケーションの統合も取り上げていません。

Nortel Option 61C PBX システムで動作する Generic Services の音声インフラストラクチャは、ほとんどのリモート サイトで Comdial キー システムと Centrex タイプのサービスを使用しています。データ接続は、一部のサイトでは本社へのフレームリレー接続のあるダイヤルアップ接続です。

IP テレフォニー プロジェクトの目的は、全国的なフレーム リレー ネットワークを構築し、集中

化された IP テレフォニー システムにすべてのリモート電話機を統合することです。

次の図は、Generic Services 本社の IP テレフォニー トポロジを示します。



IP テレフォニー トポロジは、次のコンポーネントで構成されています。

- PRI ネットワーク サービス モジュールを使用した Catalyst スイッチ。
- 800 の長距離接続用の T1 5300 音声モジュール。
- 冗長構成の Cisco CallManager。
- 冗長構成のゲートキーパー。
- ダイヤル バックアップ用の ISDN ネットワーク。
- ゲートウェイ ルータ間のホットスタンバイ ルーター プロトコル (HSRP) 。
- ゲートキーパー間の HSRP 。

移行プロセス

正しく移行するには、次のタスクを次の順序で実行します。

- [Nortel PBX スイッチからキー情報を収集します。](#)
- [PRI カードの追加と設定を行います。](#)
- [ルート リスト インデックス \(RLI \) を作成します。](#)

Nortel PBX スイッチからのキー情報の収集

完全なサイト調査を確実にするには、現在の PBX 設定を理解する必要があります。これを行う

には、キー情報を Nortel PBX スイッチから収集し、データを分析します。基本的な印刷ルーチンを実行し、Nortel Option 61C PBX の設定を確認できます。この項では、Generic Services でのパイロット時のステップとデータを分析する方法について説明します。

Nortel PBX スイッチから設定情報を印刷する前に、着信番号またはサービスプロバイダーから着信番号識別サービス (DNIS) のリストを取得します。

ステップ 1: ディレクトリ番号ブロックを印刷する

ディレクトリ番号ブロック (DNB) を印刷することによって、公衆電話交換網 (PSTN) から送信されたディジットがスイッチからの電話番号と一致するかどうかを確認できます。DNB には、システム内で使用されたすべてのディレクトリ番号が印刷されます。スイッチのサイズによっては、これは非常に大規模な作業になる場合があります。印刷ルーチンを実行するには、スイッチの使用率が低くなるまで待つことが推奨されます。

Nortel Option 61C には、スイッチを管理できるさまざまなモードがあります。これらのモードは、ロードまたはオーバーレイと呼ばれます。

ロード 20 からディレクトリ番号ブロックを印刷するには、次の手順を実行します。

1. TYPE プロンプトで、DNB と入力します。
2. DN プロンプトで Enter キーを押します。

DNB プリントアウトを確認した後、PSTN から送信されたディジットはいずれもスイッチのディレクトリ番号と一致しなかったことがわかります。リストの番号はすべて使用できました。番号には 4 桁の内線があるため、4000 を使用できます。プリントアウトには 40 という内線番号が表示されますが、2 桁の形式であるため、40 から始まるすべての番号を使用できます (401、4001、4099、4011 など)。

ステップ 2: ファントム内線番号を見つける

DNB では、リモートユーザのファントム内線番号を見つけられます。Waynesburg サイトのケースワーカーには、物理的な電話機がなく、ボイス メールボックスがあります。ボイスメールに永続的に転送される 96 のファントム内線番号があります。これらの数値は、どのリモートユーザがボイスメールを持っているのかを確認するのに役立ちます。

ステップ 3: List Unused Directory Number (LUDN)

システム内の使用可能な (未使用) ディレクトリ番号も印刷する必要があります。これは、Cisco CallManager で使用される内線番号の連続的な文字列を検索しようとする場合に役立つ可能性があります。未使用のディレクトリ番号は、ロード 20 から印刷できます。

次の例は、システム内の未使用のディレクトリ番号を示しています。

```
CUSTOMER 00 - UNUSED DNS:
118 300 305 327 343 358 40 4100 4118 4164
4192 4207 4216 4235 4236 4251 4280 4285 4286 4291
4293 4297 4298 4299 4300 4301 4302 4303 4304 4305
4313 4314 4315 4320 4321 4327 4328 4331 4333 4335
4336 4338 4340 4342 4343 4344 4350 4351 4352 4353
4354 4355 4356 4358 4359 4360 4361 4362 4363 4364
4365 4366 4368 4373 4377 4378 4379 438 439 440
```

441 442 443 444 445 446 4470 4471 4472 4473
 4474 4475 4477 4478 4479 448 449 45 460 461
 462 463 464 465 466 467 468 4690 4691 4692
 4693 4694 4695 4696 4697 4698 4702 4703 4704 4705
 4706 4707 4708 4709 471 472 473 474 475 477
 478 479 4800 4803 4811 4813 4814 4816 4817 4818
 4819 4822 4828 4829 4830 4832 4833 4835 4836 4837
 4838 4839 4841 4842 4843 4844 4845 4846 4847 4848
 4849 485 486 487 488 489 4901 4902 4903 4904
 4905 4919 4923 4924 4925 4926 4927 4928 4933 4943
 4944 4946 4947 4950 4963 4989 4994 4995 4996 4997
 4999 5001 5003 5007 5008 5009 5012

次の表に、LUDN のプロンプトと応答を示します。

プロンプト	シスコの対応	説明
REQ:	PRT	印刷します。
TYPE:	LUDN	未使用のディレクトリ番号をリストします。
CUST		
DN	XXX-XXX	DN の範囲または使用可能なすべての場合は空白にします。

ステップ 4: 端子番号ブロック データベースを印刷する

端子番号ブロック (TNB) データベースは、スイッチ内のすべてのハードウェアの設定をリストします。この情報を印刷すると、次を確認できます。

- 設置された電話機の数。
- 設定されたトランクの数。
- トランクを設定した方法。

スイッチのサイズによっては、何らかの設定があるスイッチ内のすべてのハードウェアの位置をリストするため、TNB データベースの印刷には数分かかる場合があります。印刷ルーチンを実行するには、スイッチの使用率が低くなるまで待つことが推奨されます。

ロード 20 から TNB データベースを印刷するには、次の手順を実行します。

1. TYPE プロンプトで、**TNB** と入力します。
2. TN プロンプトに移動したら、空白のまま Enter キーを押します。
3. 残りのプロンプトで **Enter** キーを押します。

ステップ 5: 顧客データベースを印刷する

顧客データベースには、PBX に関連付けられている各顧客に関する特定の情報が含まれています。Nortel Option 61C は、最大 99 の顧客を設定できます。Generic Systems のコンフィギュレーションは、デフォルトの CUST_0 に設定されています。顧客データベースは、ロード 15 によって管理されており、ロード 21 から印刷できます。

顧客データベース プリントアウトを確認すると、どの番号がアテンダント コンソール (オペレータ) を呼び出しているかを確認できます。

顧客データベースは、それぞれに固有の設定があるゲート オープナと呼ばれるセクションに分割

されています。次の表で、各ゲート オープナについて説明します。

ロード 21 のゲート オープナ	説明
AML	アプリケーション モジュール リンク。
ANI	自動番号識別。
ATT	アテンダント コンソール。
AWU	自動ウェイクアップ データ。
CAS	中央集中型アテンダント サービス データ。
CCS	制御されたサービス クラス。
CDR	呼詳細レコード。
FCR	フレキシブル コード制限。
FFC	フレキシブル機能制御。
FTR	機能とオプション。
HSP	ホスピタリティ管理。
IMS	統合メッセージ サービス。
INT	インターセプト処理。
LDN	リストされたディレクトリ番号。
MPO	マルチパーティの運用。
NET	ネットワーキング。
NIT	ナイト サービス。
OAS	オフフック アラーム セキュリティ。
PWD	パスワード。
RDR	コール リダイレクション。
ROA	記録されたオーバーフロー アナウンスメント。
TIM	タイマー。
TST	テスト回線。

顧客データベースを印刷するには、次の手順を実行します。

1. >プロンプトで、LD 21 と入力します。
2. REQ プロンプトで、PRT と入力します。
3. TYPE プロンプトで、CDB と入力します。

代わりに、TYPE プロンプトで特定のゲート オープナを入力することもできます。顧客データベースプリントアウトは、すべてのゲート オープナをアルファベット順にリストします。

注: ほとんどのシステムでは、顧客は 1 人のみです。イネーブルされたすべての顧客の顧客データベースを取得するには、CUST プロンプトを空白のままにして、Enter キーを押します。

以降のサブセクションでは、個々のゲート オープナ パラメータの例を示します。顧客データベースの完全なプリントアウトについては、「[顧客データベースプリントアウト](#)」の項を参照してください。

[アテンダント コンソールのゲート オープナ](#)

ATT_DATA (アテンダント コンソール) 顧客データベースの画面から、LDN 0、1、および 2 が使用中であることを確認できます。

この例では、ATT 顧客データベースのゲート オープナを示します。

```
ATT_DATA
OPT AHD BIND BIXA BLA
  DNI ICI ITG IDP ILF XBL
  FKA MWUD LOD
  REA SYA
ATDN 0
NCOS 7
CWUP YES
CWCL 0 0
CWTM 0 0
CWBZ YES YES
MATT NO
LFTN 004 0 02 01
LFFD 100
RTIM 60 60 60
ATIM 0
SPVC 00
  SBLF NO
RTSA RSAD
SACP NO
ABDN NO
IRFR NO
XRFR NO
ICI 00 DL0
ICI 01 RLL
ICI 02 INT
ICI 03 LD0
!--- Incoming call indicator: Listed Directory Number 0. ICI 04 LD1
!--- Incoming call indicator: Listed Directory Number 1. ICI 05 LD2
!--- Incoming call indicator: Listed Directory Number 2. ICI 06 R000 ICI 07 ICI 08 ICI 09 RICI
```

ディレクトリ番号リストのゲート オープナ

次の例のコンピュータ データベース プリントアウト、特に LDN ゲート オープナを見ると、どのコールがアテンダント コンソールの着信コール インジケータ (ICI) キーにルーティングされて、LDN ディレクトリ番号とは実際に何であることを確認できます。ICI 03 エントリには、LD0 が割り当てられています。その上の LDN0 エントリには、そのディレクトリ番号として 5100 がリストされています。着信ディジット変換 (IDC) テーブルを確認すると、一致が存在します。5100 はサービスプロバイダーのリストには含まれていませんが、4 つの個別のリストがある IDC のテーブルに含まれています。

```
LDN_DATA
OPT XLDN
DLDN NO
LDN0 5100
LDN1 164
LDN2 280
LDN3
LDN4
LDN5
ICI 00 DL0
ICI 01 RLL
ICI 02 INT
```

```
ICI 03 LD0
ICI 04 LD1
ICI 05 LD2
ICI 06 R000
ICI 07
ICI 08
ICI 09
```

FCR ゲート オープナ

FCR ゲート オープナは、新しいフレキシブル コード制限 (NFCR) ツリーをイネーブルにし、リストの数を設定するために使用されます。着信ディジット変換も、ここでイネーブルにすることができます。この例では、着信ディジット変換の許可 (IDCA) がイネーブルで、ディジット変換の最大数 (DCMX) テーブルが 15 に設定されています。DCMX の最大許容値は 15 です。また、NFCR は最大 10 のリストでイネーブルにすることができます。IDC テーブルを使用するには、NFCR と IDCA を YES に設定し、それぞれに対して最大数を設定する必要があります。

```
FCR_DATA
NFCR YES
  MAXT 10
  OCB1 255
  OCB2 255
  OCB3 255
IDCA YES
  DCMX 15
```

新しいフレキシブル コード制限および着信ディジット変換

PBX は、PSTN または他の外部ソースからのディジットを受け入れ、別のディジットに変換します。Generic Services は PSTN から 4 桁を受信しました。IDGT は着信ディジット、CDGT は変換されたディジットです。この例では、Nortel スイッチからの IDC ツリーを示します。

ロード 49 には、ロード 20、21、および 22 の印刷ルーチンでは印刷できない、いくつかの関連付けられた情報があります。次の例は、着信ディジットと変換されたディジットを示します。

```
FCR_DATA
NFCR YES
  MAXT 10
  OCB1 255
  OCB2 255
  OCB3 255
IDCA YES
  DCMX 15
```

ナイト サービスのゲート オープナ

NIT ゲート オープナは、夜間のコールがどうなったかを示します。この例では、NIT ゲート オープナはボイスメールパイロット番号である内線 350 に転送されます。

```
NIT_DATA
NIT1 350
TIM1
NIT2
```

TIM2
 NIT3
 TIM3
 NIT4
 TIM4
 ENS NO

ステップ 6： 設定レコードを取得する

設定レコード (CFN) は、D チャンネル、デジタル回路、特別なリンクの設定情報を提供します。これには自動着信呼分配 (ACD)、ボイスメール (VM)、およびテレタイプライター (TTY) が含まれています。ロード 22 から設定レコードを取得できます。

システム コンフィギュレーションは、システムのハードウェアとソフトウェアのパラメータを定義します。オーバーレイ プログラム (ロード 17) は、パスワード、バッファ サイズ、音声およびデータ ループ、メモリ、およびプロセッサの数などのシステム パラメータを変更するために使用します。D チャンネルおよび関連付けられているデジタル ループも、ここで設定されます。つまり、ロード 17 ではハードウェアをプロビジョニングします。

次の表に示すように、ロード 17 はゲート オープナに分割されています。セクションは次のとおりです。

ロード 17 のゲート オープナ	説明
ADAN	アクション デバイスおよび番号。
PWD	パスワード。
PARM	システム パラメータ。
CEQU	共通機器。
OVLV	オーバーレイ。
VAS	付加価値サーバ。
ATRNR	Aries 伝送。
ALARM	アラーム フィルタ。ROLR/TOLR/AOLR オフセットおよび値。HRLR/HTLR オフセットおよび値。

次の表は、Cisco CallManager の移行または共存に関係するゲート オープナを示します。また、ゲート オープナで設定可能なさまざまなデバイスやサービスのタイプの一部も示します。

アクション デバイスおよび番号 (ADAN)

ここでは、システムの TTY 端末、モデム、CDR プリンタ、D チャンネル設定をすべて設定します。

NIT_DATA NIT1 350 TIM1 NIT2 TIM2 NIT3 TIM3 NIT4	NIT_DATA NIT1 350 TIM1 NIT2 TIM2 NIT3 TIM3 NIT4	NIT_DATA NIT1 350 TIM1 NIT2 TIM2 NIT3 TIM3 NIT4
--	--	--

TIM4	TIM4	TIM4
ENS NO	ENS NO	ENS NO

パラメータ (PARM)

ここでは、プロパティ管理システムの設定を含めるかどうか、どのような情報が CDR に出力されるか、セカンダリ パスワードなどの、さまざまなシステム パラメータを設定します。

```
NIT_DATA
NIT1 350
TIM1
NIT2
TIM2
NIT3
TIM3
NIT4
TIM4
ENS NO
```

共通機器 (CE)

このゲート オープナでは、イエロー アラーム タイプ、しきい値、ライン コーディング方式など、PRI チャネル、T1 チャネルのパラメータを設定します。

```
CEQU
MPED 8D
TERM
REMO
TERD 018
REMD
TERQ N099
REMQ
SUPL 004 008
XCT 000 016
TDS * 000 * 016
CONF * 001 * 017
MFSD * 000 * 016

DLDP NUM DCH FRM LCMT YALM TRSH
TRK 012 24 D4 AMI DG2 00
    024 24 D4 AMI DG2 00
PRI 002 24 ESF B8S FDL 00
    003 24 ESF B8S FDL 00
    019 24 ESF B8S FDL 00 (new loop)
EXT0 3PE
    CNI 012 000 000
EXT1 3PE
    CNI 012 000 000
MCFN 004 004 004 004 016 016
```

すべての設定を印刷するには、次の手順を実行します。

1. >プロンプトで、LD 22 と入力します。
2. REQ プロンプトで、PRT と入力します。
3. TYPE プロンプトで、CFN と入力します。

代わりに、検索する情報が明確にわかっている場合は、TYPE プロンプトで特定のゲート オープナを入力できます。

ステップ7: ルートデータブロック情報を印刷する

ルートデータブロック (RDB) は、スイッチ上に構築されたルートをすべて保存します。この情報を使用して、コールのルーティング方法を確認できます。

ルートデータブロックの内容を印刷するには、次の手順を実行します。

1. >プロンプトで、ID 21 と入力します。
2. REQ プロンプトで、PRT と入力します。
3. TYPE プロンプトで、RDB と入力します。
4. ROUT プロンプトで、ルート番号を入力するか、またはすべてのルートの場合は空白のままにします。

注: 特定のルートに関する情報を入手するには、ROUTE または ACOD プロンプトで、ルート番号またはアクセスコードをそれぞれ入力します。

個々のトランクのルートグループ (RDB) はすべて、ロード 16 でプロビジョニングされます。ルートグループを作成するには、次を設定します。

- トランクタイプ。
- シグナリング。
- トランクへのアクセス。
- 方向。
- トランクのグループに関連付けられた詳細情報。

Generic Systems には、複数のトランクタイプがあります。各トランクタイプには異なる RDB が必要です。トランク設定の実情を把握するため、ここでは RDB から開始しました。Generic Systems には 17 個のルートがあります。ただし、12 個のルートだけが使用されています。次の表に、ルートの詳細を示します。

トランクタイプ	トランク数	ルート番号	使用目的
PRI	23	0	DID: アテンダントを呼び出す着信または発信トランク。
PRI	12	2	DID: ルート 2 は受信専用です。
PRI	11	1	COT: 着信および発信トランク。
PRI	23	19	TIE: Cisco CallManager に結び付けられています。
DTI (T1)	24	7	TIE: 着信および発信トランク。
DTI (T1)	24	8	TIE: 着信および発信トランク。
XEM (E & M)	12	20	TIE: 着信および発信トランク。
COT (P OTS)	7	3	COT: 発信ルートのみ。
COT (P OTS)	7	4	COT: 着信および発信トランク。

RAN	1	11	RAN：記録されたアナウンスメントデバイス。
RAN	1	12	RAN：記録されたアナウンスメントデバイス。
RAN	1	13	RAN：記録されたアナウンスメントデバイス。

Generic Services の移行では、Cisco CallManager に接続するために、新しい RDB から次のデフォルト以外のプロンプトが追加されました。

```
CEQU
MPED 8D
TERM
REMO
TERD 018
REMD
TERQ N099
REMQ
SUPL 004 008
XCT 000 016
TDS * 000 * 016
CONF * 001 * 017
MFSD * 000 * 016
```

```
DLOP NUM DCH FRM LCMT YALM TRSH
TRK 012 24 D4 AMI DG2 00
    024 24 D4 AMI DG2 00
PRI 002 24 ESF B8S FDL 00
    003 24 ESF B8S FDL 00
    019 24 ESF B8S FDL 00 (new loop)
EXT0 3PE
    CNI 012 000 000
EXT1 3PE
    CNI 012 000 000
MCFN 004 004 004 004 016 016
```

ステップ 8：トランク (TRK) の設定情報を取得する

Nortel X11 ソフトウェアは、トランク設定に関する情報を取得する次の 2 つの印刷ルーチンを提供します。ハードウェアの位置 (TNB) またはトランクタイプ。どちらのオプションも同じ情報を含み、いずれの方法もロード 20 から印刷できます。

次の表に、使用可能なプロンプトのリストとプロンプトの発効後に表示される内容を示します。これらは、トランクの TNB データから取得されます。

プロンプト	シスコの対応	説明
REQ:	PRT	印刷します。
TYPE:	TNB	端子番号ブロック。
TN	lscu	スイッチ上のループ、シェルフ、カード、およびユニットハードウェアの位置。
CUST		

注: ロード 20 では、TN プロンプトに続けて特定の端子番号ブロックを入力する必要があります。たとえば、TN プロンプトに続けて 004 を入力すると、TNB 004 の設定を印刷することを示します。

この例では、太字で表示されるプロンプトは、トランクがどのように作成されるかを確認するために必要な情報のほとんどが含まれています。このプリントアウトから、このトランクが監視されていないグラウンド スタート トランクであることがわかります。このトランクがルート 4 のメンバ番号 7 であることもわかります。

```
TN 004 1 00 03
TYPE COT
!--- Central office trunk. CDEN 8D (card density) CUST 0 XTRK XUT
!--- Extended universal trunk card. TIMP 600 BIMP 3COM NCOS 0
!--- Network class of service. RTMB 4 7
!--- Route number and member. NITE SIGL GRD
!--- Ground start trunk. SUPN NO
!--- No supervision. CLS UNR DTN WTA LPR APN THFD P10 NTC LOL TKID DATE 30 JAN 2001
```

次のトランク プリントアウトは、即時開始/即時停止が取り決められた EM4 シグナリングを使用したタイ ラインです。

```
TN 008 0 01 00
TYPE TIE
!--- Tie trunk. CUST 0 XTRK XEM
!--- Extended E&M card. EMTY TY1 !--- E&M type 1. CPAD COUT NCOS 0
RTMB 20 5
!--- Route and member number. TGAR 0
!--- Trunk group access restriction. SIGL EM4
!--- Signaling. STRI/STRO IMM IMM
!--- Starting and stopping arrangements. SUPN YES
!--- Supervision. CLS UNR DTN ECD WTA LPR APN THFD P10 NTC MID TKID DATE 30 JAN 2001
```

すべてのシステム情報の入手後、サイト調査に対して確認されました。サイト調査に記載されていない 11 のアナログ回線があることがわかりました。回線が実際に存在していて機能していることを確認するため、サービス プロバイダーの境界ポイント (RJ-21X) の各ジャンパが終端する位置を物理的にトレースしました。

ステップ 9: 自動着信呼分配 (ACD)

Generic Services の IT 部門のコール センターは Waynesburg にあります。コール センターには、7 つの部門に分割される ACD グループ内に約 45 台の電話機があります。この情報は印刷ルーチンを使用して PBX から収集されました。シスコでは、Cisco IP Integrated Contact Distribution (IPICD) の製品をリリースする過程にあるため、パイロットでは ACD 機能は試行されていません。

PRI カードの追加と設定

この移行では、従来のカードを乱すことなく、新しい PRI のカードを注文することが決定されました。ただし、新しいカードが到着したとき、このカードは使用できない PBX のネットワーク スロット用にスレートされていました。電話会社のベンダーと協力した後、別のスロットが既存のカードに対応することがわかり、既存および新しい PRI カードの配置を交換しました。その後、タイ トランクの新しいループやチャンネルが追加されました。

新しい PRI カードは、Cisco CallManager トラフィック専用です。ここでは、PRI カードを追加し、設定するために行った手順を説明します。

PRI カードの Meridian 1 をプログラムするには、次の 7 つの手順を行います。

1. [エラー検出しきい値を定義します。](#)
2. [PRI ループを追加します。](#)
3. [D チャネルを作成します。](#)
4. [PRI カスタマーを定義します。](#)
5. [PRI のルート データ ブロック \(RDB \) を作成します。](#)
6. [PRI のトランクを作成します。](#)
7. [クロック同期を定義します。](#)

[エラー検出しきい値を定義する](#)

Generic Services には、すでにシステムにインストールされている 3 つの PRI カードがあります。したがって、エラー検出しきい値を設定する必要はありません。

[PRI ループを追加する](#)

Waynesburg のサイトでは、ロード 17 に新しいデジタル ループ (DLOP) を追加しました。このループは、このカードのリソースがある場所をシステムに通知します。新しいループの番号は 19 にしました。

この例では、新しいループの設定を示します。

```
CEQU
MPED 8D
TERM
REMO
TERD 018
REMD
TERQ N099
REMQ
SUPL 004 008
XCT 000 016
TDS * 000 * 016
CONF * 001 * 017
MFSD * 000 * 016

DLOP NUM DCH FRM LCMT YALM TRSH
TRK 012 24 D4 AMI DG2 00
    024 24 D4 AMI DG2 00
PRI 002 24 ESF B8S FDL 00
    003 24 ESF B8S FDL 00
    019 24 ESF B8S FDL 00

!--- New loop. EXT0 3PE CNI 012 000 000 EXT1 3PE CNI 012 000 000 MCFN 004 004 004 004 016 016
```

[D チャネルを作成する](#)

D チャネルはコール セットアップとティアダウンのために 2 つのシステム間でシグナリングに使用されます。次が認識されるように、新しい D チャネルを設定する必要があります。

- クロック ソース。
- 帯域割り当て。
- ループ アソシエーション。

D チャンネルはロード 17 で作成および管理されます。この例では、新しい D チャンネルの設定を示します。太字はクロックソースが外部であること、新しい D チャンネルグループ 19 に関連付けられていること、D チャンネルの帯域割り当てが 64 KC であることを示します。

注: D チャンネルの帯域幅割り当ては、D チャンネルの送信レート (DRAT) のプロンプトで設定されます。

```
ADAN DCH 1
CTYP MSDDL
DNUM 9
PORT 2
DES CISCO-LOOP19
USR PRI
DCHL 19
OTBF 127
PARM RS422 DTE
DRAT 64KC
CLOK EXT
IFC D100
SIDE USR
CNEG 1
RLS ID **
RCAP ND2
T200 3
T203 10
N200 3
N201 260
K 7
```

[PRI カスタマーを定義する](#)

ロード 15 の顧客データベース (CDB) は、システム内のデジタル回線を使用するには、イネーブルにする必要があるオプションです。これを行うには、ISDN プロンプトを **YES** に設定します。Generic Systems はすでに PRI サービスを使用しているため、これは CDB にあらかじめ設定されています。

[PRI のルートデータブロック \(RDB \) を作成する](#)

Cisco CallManager と Nortel PBX の間に、接続用の 23 個の新しいトランクが追加されました。したがって、トランクが関連付けられる新しいルートを追加する必要がありました。RDB はトランクのグループに対して次のパラメータを設定します。

- システムがトランクを検索する方法 (ラウンド ロビンまたはリニア)。
- ダイレクト アクセスのアクセス コード。
- トランクのタイプ。
- トロンボーン。
- トランクが自動終了するかどうか。

これは、ロード 16 で作成されます。この例は、RDB パラメータを示しています。

```
TYPE RDB
CUST 00
ROUT 19
TKTP TIE
!--- Trunk type is TIE. RCLS EXT DTRK YES DGTP PRI ISDN YES MODE PRA IFC D100 SBN NO PNI 0000
```

```
NCNA YES NCRD YES TGAR 0 PTYP PRI AUTO NO
!--- No auto-termination; terminate normally. ICOG IAO SRCH LIN TRMB YES
!--- Tromboning is allowed. ACOD 5719
!--- Access code for the trunk group is 5719. TARG INST
```

PRI のトランクを作成する

新しいトランクを追加し、新しいルートに関連付けられました。これは、ロード 14 で行われます。

注: 同じ設定で作成する必要がある複数のトランクを追加するときに時間を節約するには、次の手順を行います。

1. REQ プロンプトで、**NEW** と入力します。
2. Space バーを押し、追加するトランクの数を入力します。この例では、トランクを設定する方法を示します。

```
TYPE RDB
CUST 00
ROUT 19
TKTP TIE
!--- Trunk type is TIE. RCLS EXT DTRK YES DGTP PRI ISDN YES MODE PRA IFC D100 SBN NO PNI
00000 NCNA YES NCRD YES TGAR 0 PTYP PRI AUTO NO
!--- No auto-termination; terminate normally. ICOG IAO SRCH LIN TRMB YES
!--- Tromboning is allowed. ACOD 5719
!--- Access code for the trunk group is 5719. TARG INST
```

クロック同期を定義する

Generic Services には、すでにシステムにインストールされている 3 つの PRI カードがあります。したがって、クロック同期を設定する必要はありません。クロック同期は、ロード 73 で管理できます。

ルート・リスト・インデックス (RLI) の作成

この項では、ルート リスト インデックスを作成するために実行した手順を説明します。

ロード 86 では、新しい遠隔ステアリング コード (DSC) を関連付ける新しい RLI が追加されます。DSC は Nortel PBX で目的の宛先にコールをルーティングするために使用されます。

作成した新しい RLI にルート番号を割り当てる必要があります。RLI は、後述の「[遠隔ステアリング コードを作成する](#)」の項で割り当てられます。

この例では、RLI の設定を示します。

```
TYPE RDB
CUST 00
ROUT 19
TKTP TIE
!--- Trunk type is TIE. RCLS EXT DTRK YES DGTP PRI ISDN YES MODE PRA IFC D100 SBN NO PNI 00000
NCNA YES NCRD YES TGAR 0 PTYP PRI AUTO NO
!--- No auto-termination; terminate normally. ICOG IAO SRCH LIN TRMB YES
!--- Tromboning is allowed. ACOD 5719
!--- Access code for the trunk group is 5719. TARG INST
```

注: オーバーフロー コールを移動する場所が必要な場合は、さらに ENTR セクションを作成します。

内線番号を変更する

パイロットのみが実行され、PSTN への新しい PRI または他の接続は追加されないため、エンドユーザの内線番号を変更する必要があります。この変更は、エンドユーザが新しい IP Phone で公開されたダイヤルイン方式 (DID) を使用するために必要です。Nortel の内線番号をシステムから削除し、遠隔ステアリングコードとして追加し直す必要があります。

注: PRI 回線を追加したのは、Cisco CallManager と Nortel PBX 間の接続のためです。Cisco CallManager に向けた PSTN へのすべてのアクセスは、Nortel PBX を通過します。

遠隔ステアリングコードを作成する

統合の課題は、Nortel PBX から Cisco CallManager へ特定のユーザを移動することです。たとえば、ユーザ 6511 が Nortel PBX から Cisco CallManager に移動すると、Nortel PBX で適切な電話の Cisco CallManager に接続する必要があるコールをポイントするようにルートを配置する必要があります。

Nortel PBX は DSC 機能を使用して、CallManager または PSTN からのコールをルーティングします。Waynesburg の Generic Services では、ユーザのデスクで直接呼び出し音が鳴る DID 番号を使用し、アテンダントの必要性をバイパスしています。ユーザの内線番号の最後の 3 桁は、PSTN から渡されます。パイロット期間中は PSTN からの回線が Nortel PBX で保持されるため、Cisco CallManager にダイジットを送信するように Nortel PBX を設定する必要がありました。

Cisco CallManager に番号を送信するように Nortel PBX を設定するため、既存のディレクトリ番号を電話機から削除し、Cisco CallManager に接続されている PRI をポイントする DSC として Nortel PBX に追加し直す必要がありました。Nortel PBX では、スイッチのどこかで使用されている場合、着信番号を使用して DSC を作成することはできません。それぞれの Meridian 電話の主なディレクトリ番号は、3 桁の番号から使用可能な 4 桁の電話番号に変更されます。これは、DSC として使用される内線番号をリリースします。

Nortel PBX のディレクトリ番号を遠隔ステアリングコードに変更する

```
LD 20
REQ CHG
TYPE !--- Depends on phone type. TN !--- Varies. ECHG YES ITEM KEY 0 SCR 6122 !--- 6122 is the
new extension number. KEY (CR) ITEM (CR) LD 87 REQ NEW CUST 0 FEAT CDP !--- Coordinated dial
plan. TYPE DSC !--- Distant steering code. DSC XXXX !--- Old extension number. FLEN 3 !---
Number of digits coming from the PSTN. DSP (CR) RLI !--- Route number call should go to. DSC !--
- If you need to add more extension numbers !--- do so here, otherwise press Enter to finish.
```

DSC を削除して Nortel PBX に番号を追加し直す

```
LD 20
REQ CHG
TYPE !--- Depends on phone type. TN !--- Varies. ECHG YES ITEM KEY 0 SCR 6122 !--- 6122 is the
new extension number. KEY (CR) ITEM (CR) LD 87 REQ NEW CUST 0 FEAT CDP !--- Coordinated dial
plan. TYPE DSC !--- Distant steering code. DSC XXXX !--- Old extension number. FLEN 3 !---
Number of digits coming from the PSTN. DSP (CR) RLI !--- Route number call should go to. DSC !--
- If you need to add more extension numbers !--- do so here, otherwise press Enter to finish.
```


遠隔ステアリング コードを追加したら、すべてが動作していることを確認する必要があります。古い電話をボイスメールにコール転送し、新しい IP Phone から呼び出します。コールは、ユーザの個人用ボイスメール メッセージを転送する必要があります。DID 番号を呼び出して、Cisco IP Phone が鳴ること、*ring no answer* のしきい値に達したらボイスメールに切り替わることを確認されたコールします。

実装の検証

この項では、実装の承認のために実行された基本的なテストについて説明します。これらのテストに合格すると、移行がお客様の要件とシスコの仕様に従って実行されたこと、運用の準備ができたことが保証されます。

Nortel テスト

Nortel の観点からは、設定を確認するためにスイッチにログインしている間にテストできる項目がいくつかあります。ロード 60 は、回線が起動していて、すべてのトランクがアイドル状態で稼働中であることを確認できるようにします。この例では、設定がどのように表示されるかを示します。

```
LD 20
REQ CHG
TYPE !--- Depends on phone type. TN !--- Varies. ECHG YES ITEM KEY 0 SCR 6122 !--- 6122 is the
new extension number. KEY (CR) ITEM (CR) LD 87 REQ NEW CUST 0 FEAT CDP !--- Coordinated dial
plan. TYPE DSC !--- Distant steering code. DSC XXXX !--- Old extension number. FLEN 3 !---
Number of digits coming from the PSTN. DSP (CR) RLI !--- Route number call should go to. DSC !---
- If you need to add more extension numbers !--- do so here, otherwise press Enter to finish.
```

また、Nortel の電話が作成される方法も確認できます。トランク グループのアクセス制限 (TGAR) が作成したルート グループとトランクに一致することを確認します。これらが一致しない場合、電話はトランク グループにアクセスできません。

注: パイロット実装では、TGAR を制限なしの 0 に設定する必要があります。

このルート グループのトランク アクセス制限グループ (TARG) と電話機のトランク グループのアクセス制限 (TGAR) の例は、確認する必要のある項目を示します。

ルート グループの TARG の例

```
TYPE RDB
CUST00
ROUT 19
TKTP TIE
ESN NO
CNVT NO
SAT NO
RCLS EXT
DTRK YES
DGTP PRI
ISDN YES
MODE PRA
IFC D100
```

SBN NO
PNI 00000
NCNA YES
NCRD YES
CHTY BCH
CTYP UKWN
INAC NO
ISAR NO
TGAR 0
PTYP PRI
AUTO NO
DNIS NO
DCDR NO
ICOG IAO
SRCH LIN
TRMB YES
STEP
ACOD 5719
TCPP NO
TARG (blank = 0, no restrictions)
BILN NO
OABS
INST
IDC NO
DCNO 0 *
NDNO 0
DEXT NO
ANTK
SIGO STD
TIMR ICF 512
OGF 512
EOD 13952
NRD 10112
DDL 70
ODT 4096
RGV 640
GRD 896

電話の TGAR の例

TYPE RDB
CUST00
ROUT 19
TKTP TIE
ESN NO
CNVT NO
SAT NO
RCLS EXT
DTRK YES
DGTP PRI
ISDN YES
MODE PRA
IFC D100
SBN NO
PNI 00000
NCNA YES
NCRD YES
CHTY BCH
CTYP UKWN
INAC NO
ISAR NO
TGAR 0
PTYP PRI

```
AUTO NO
DNIS NO
DCDR NO
ICOG IAO
SRCH LIN
TRMB YES
STEP
ACOD 5719
TCPP NO
TARG (blank = 0, no restrictions)
BILN NO
OABS
INST
IDC NO
DCNO 0 *
NDNO 0
DEXT NO
ANTK
SIGO STD
TIMR ICF 512
    OGF 512
    EOD 13952
    NRD 10112
    DDL 70
    ODT 4096
    RGV 640
    GRD 896
```

[DID 番号リングがNortel フォンを通してCisco IP Phone にリングしていることを確認](#)

いずれかの Nortel 電話から発信トランクにアクセスし、Cisco IP Phone に送られるように設定した DID 番号をダイヤルします。IP 電話が鳴るはずですが。

この時点ではパイロットをインストールしているだけなので、Nortel のボイスメールがまだ使用されています。Cisco CallManager がボイス メッセージングのために Nortel 電話の新しい内線番号にコールを返すようにするには、Forward No Answer および Forward Busy の設定を使用します。

標準の 3 回か 4 回の呼び出し音で Nortel 電話がボイスメール システムに転送されるようにする必要があります。それ以外の場合、ボイスメールがピックアップする前に電話は 9 回または 10 回鳴り、発信者がボイスメール メッセージを待たずに切断する可能性が高くなります。ボイスメール システムに Nortel 電話を転送したら、IP Phone を呼び出してボイスメールがピックアップすることを確認します。

注: また、Meridian のボイスメール システムでメッセージ待ち受けインジケータ (MWI) DN を変更する必要があります。

[顧客データベースプリントアウト](#)

これは顧客データベース プリントアウトの例です。

```
TYPE RDB
CUST00
ROUT 19
TKTP TIE
ESN NO
```

CNVT NO
SAT NO
RCLS EXT
DTRK YES
DGTP PRI
ISDN YES
MODE PRA
IFC D100
SBN NO
PNI 00000
NCNA YES
NCRD YES
CHTY BCH
CTYP UKWN
INAC NO
ISAR NO
TGAR 0
PTYPR PRI
AUTO NO
DNIS NO
DCDR NO
ICOG IAO
SRCH LIN
TRMB YES
STEP
ACOD 5719
TCPP NO
TARG (blank = 0, no restrictions)
BILN NO
OABS
INST
IDC NO
DCNO 0 *
NDNO 0
DEXT NO
ANTK
SIGO STD
TIMR ICF 512
OGF 512
EOD 13952
NRD 10112
DDL 70
ODT 4096
RGV 640
GRD 896

印刷ルーチン

この項では、ロード 20、21、および 22 に含まれる、さまざまな印刷ルーチンのプロンプトと応答について説明します。これは完全なリストではありませんが、主なトピックは取り上げられています。

ロード 20 印刷ルーチン

ディレクトリ番号ブロック (DNB)

プロンプト	シスコの対応	説明
REQ:	PRT	印刷します。

TYPE:	DNB	ディレクトリ番号データ ブロック。
CUST		
DN	X...X	特定の DN を入力するか、すべての場合は空白にします。
DATE	(CR)	復帰。
PAGE	(CR)	復帰。

変換前 (PRE)

プロンプト	シスコの対応	説明
REQ:	PRT	印刷します。
TYPE:	SCL	返還前データ。
CUST		

スピードコールリスト (SCL)

プロンプト	シスコの対応	説明
REQ:	PRT	印刷します。
TYPE:	SCL	標準およびシステムのスピードコールリスト。
CUST		
LSNO	X..X	特定のリスト番号を入力するか、すべての場合は空白にします。

電話機およびトランクの端子番号ブロック (TNB)

プロンプト	シスコの対応	説明
REQ:	PRT	印刷します。
TYPE:	TNB	端子ブロック番号。
TN	lcsu	ハードウェアの位置。TN を入力しなかった場合は、すべての電話機とトランクが返されます。
CUST		

プロンプト	シスコの対応	説明
REQ:	PRT	印刷します。
TYPE:	TNB	トランク データ ブロック。
TN	lcsu	ハードウェアの位置 (ループ、シエル

		フ、カード、ユニット)。TN を入力しなかった場合は、すべての TN が返されます。
CUST		

トランク データ : 特定のトランク タイプ

プロンプト	シスコの対応	説明
REQ:	PRT	印刷します。
TYPE:	COT	局線トランク。
	DID	ダイヤルイントランク。
	MUS	音楽トランク。
	PAG	ページングトランク。
	RAN	記録されたアナウンスメントトランク。
	TIE	TIE トランク。
TN	lscu	ハードウェアの位置 (ループ、シェルフ、カード、ユニット) 。
CUST		

未使用カード (LUC)

プロンプト	シスコの対応	説明
REQ:	LUC	未使用のカード スロットをリストします。
TN	lsc	ハードウェアの位置 (ループ、シェルフ、カード) 。
	L ch	DTI/PRI ループとチャネル。

未使用ディレクトリ番号 (LUDN)

プロンプト	シスコの対応	説明
REQ:	PRT	印刷します。
TYPE:	LUDN	未使用のディレクトリ番号をリストします。
CUST		
DN	xxx-xxx	特定の DN 範囲を入力するか、使用可能なすべての場合は空白にします。

ロード 21 印刷ルーチン

顧客データブロック

プロンプト	シスコの対応	説明
REQ:	PRT	印刷します。
TYPE:	CDB	顧客データブロック。パスワードに関するデータが必要な場合は、PWD を印刷します。PWD のデータは、CDB の印刷では提供されません。
CUST		

ルートデータブロック (RDB)

プロンプト	シスコの対応	説明
REQ:	PRT	印刷します。
TYPE:	RDB	ルートデータブロック。
CUST		
ROUT	0-511	検索対象のルート番号。ルートを入力しなかった場合は、すべてのルートが返されます。
ACOD	xxxx	ルートアクセスコード。

トランクメンバ (LTM)

プロンプト	シスコの対応	説明
REQ:	LTM	トランクメンバをリストします。
CUST:		
ROUT	0-511	メンバのルート番号。
ACOD	xxxx	ルートアクセスコード。

ロードs22 印刷ルーチン

共通機器 (CEQU)

プロンプト	シスコの対応	説明
REQ:	PRT	印刷します。
TYPE:	CEQU	共通機器データ。

設定レコード (CFN)

プロンプト	シスコの対応	説明
REQ:	PRT	印刷します。
TYPE:	CFN	設定レコード。

[アクション デバイスおよび番号 \(ADAN\)](#)

プロンプト	シスコの対応	説明
REQ:	PRT	印刷します。
TYPE:	ADAN	すべての I/O デバイス (D チャンネルとバックアップ D チャンネル)。

[問題とリリース \(ISS\)](#)

プロンプト	シスコの対応	説明
REQ:	ISS	問題とソフトウェアのリリースを印刷します。

[ソフトウェア パッケージ \(PKG\)](#)

プロンプト	シスコの対応	説明
REQ:	PRT	印刷します。
TYPE:	PKG	ソフトウェア パッケージを印刷します。

[PRI メンテナンスおよびステータス](#)

PRI またはデジタル トランク インターフェイス (DTI) のトランクのリアルタイム ステータスに関する多数の情報を提供するロードには、次の 2 つがあります。LD 60 と LD 96。ロード 96 は、システムの D チャンネルの状態も取得します。

[PRI および DTI トランク情報コマンド](#)

次の表に、PRI および DTI のトランクに関する情報を入手するコマンドを示します。

コマンド	説明
DISI loop	すべてのチャンネルがアイドルの場合にループを無効にします。
DISL loop	ループのネットワークと PRI/DTI カードを無効にします。
DSCH 1 ch	ループのチャンネルを無効にします。
ENCH 1 ch	ループのすべてのチャンネルをイネーブルにします。

ENLL loop	ループのネットワークと PRI/DTI カードをイネーブルにします。
LCNT (loop)	1 つまたはすべての PRI/DTI ループのアラームカウンタの内容をリストします。
LOVF cr	カスタマー c とルート r のしきい値のオーバーフローをリストします。
RCNT	すべての PRI/DTI ループのアラームカウンタを再起動します。
RCNT loop	ループのアラームカウンタをリセットします。
STAT loop	PRI/DTI ループのステータスを取得します。
STAT 1 ch	チャンネル ch のステータスを取得します。
STAT	すべての PRI/DTI チャンネルのステータスを取得します。

[システム・クロック・コントローラ および ステータス コマンド](#)

次の表に、システム クロック コントローラのステータスを取得する、または無効にするために使用するコマンドを示します。

コマンド	説明
DIS CC x (0,1)	システム クロック コントローラ x (0,1) を無効にします。
DSCK loop	ループのクロックを無効にします。
ENCK loop	ループのクロックを有効にします。
ENL CC x (0,1)	システム クロック コントローラ x (0,1) を有効にします。
SSCK x	システム クロック x (0,1) のステータスを取得します。

[ロード 96 : Dチャンネルの診断コマンド](#)

次の表に、D チャンネルおよびメッセージのモニタリングをイネーブルまたは無効にするコマンドを示します。PBX の発着信コールのリアルタイム メッセージを表示するには、メッセージのモニタリングをイネーブルにします。

注: この表の x は、D チャンネル番号を指定します。

コマンド	説明
ENL MSGI x	着信メッセージのモニタリングをイネーブルにします。
ENL MSGO	発信メッセージのモニタリングをイネーブルにします。

x	
DIS MSGI x	着信メッセージのモニタリングを無効にします。
DIS MSGO x	発信メッセージのモニタリングを無効にします。
DIS DCH x	D チャンネル x を無効にします。
ENL DCH x	D チャンネル x をイネーブルにします。
STAT DCH x	D チャンネル x のステータスを取得します。

ロード 60 : DTI および PRI 診断

ロード 60 は、DTI および PRI の診断用です。PRI に携わるメンテナンスの基本的なコマンドについては、このリストを使用します。

コマンド	説明
ATLP (0), 1	真夜中の自動ループテストをディセーブル (デフォルト) またはイネーブルにします。
CDSP	メンテナンスの表示を 00 または空にクリアします。
CMIN ALL	すべてのアテンダント コンソールのマイナーアラーム表示をクリアします。
CMIN c	カスタマー c のアテンダント コンソールのマイナーアラーム表示をクリアします。
DISI loop	すべてのチャンネルがアイドルの場合にループを無効にします。
DISL loop	ループのネットワークと DTI/PRI カードを無効にします。
DLBK loop	RLBK コマンドごとにリモート ループバックテストを無効にします。
DLBK l ch	RLBK 1 ch コマンドごとにリモート ループバックテストを無効にします。
DSC H l ch	ループのチャンネル ch を無効にします。
ENC H loop	1 秒あたり 2.0 MB の DTI/PRI ですべてのチャンネルをイネーブルにします。
ENC H l ch	DTI/PRI ループのチャンネル ch をイネーブルにします。
ENLL loop	ループのネットワークと DTI/PRI カードをイネーブルにします。
LCNT (loop)	1 つまたはすべての DTI/PRI ループのアラームカウンタの内容をリストします。

LOVF c r	カスタマー c (0 ~ 99) とルート r (0 ~ 511) のしきい値のオーバーフローをリストします。
RCNT	すべての DTI/PRI ループのアラーム カウンタをリセットします。
RCNT loop	DTI/PRI ループのアラーム カウンタをリセットします。
RMS T loop	ループのセルフ テストを実行します。
RMS T l ch	特定のチャンネル (1 秒あたり 2.0 MB の DTI/PRI のみ) のセルフ テストを実行します。
RLBK loop	テストのためのキャリア インターフェイス ポイントでループを閉じます。
RLBK l ch	キャリア インターフェイス ポイントでチャンネル ch を閉じます。
RSET l ch	チャンネル ch のしきい値をリセットします。
SLFT loop	ループのハードウェア セルフ テストを呼び出します。
SLFT l ch	チャンネル ch の部分的なハードウェア セルフ テストを呼び出します。
STAT	すべてのループのステータスを取得します。
STAT loop	DTI/PRI ループのステータスを取得します。
STAT l ch	チャンネル ch のステータスを取得します。

この例は、ループ 19 で LCNT コマンドを投入し、スパンが起動していて正しく設定されている場合の出力を示します。

```

TYPE RDB
CUST00
ROUT 19
TKTP TIE
ESN NO
CNVT NO
SAT NO
RCLS EXT
DTRK YES
DGTP PRI
ISDN YES
  MODE PRA
  IFC D100
  SBN NO
  PNI 00000
  NCNA YES
  NCRD YES
  CHTY BCH
  CTYP UKWN
  INAC NO
  ISAR NO
  TGAR 0
PTYP PRI

```

```
AUTO NO
DNIS NO
DCDR NO
ICOG IAO
SRCH LIN
TRMB YES
STEP
ACOD 5719
TCPP NO
TARG (blank = 0, no restrictions)
BILN NO
OABS
INST
IDC NO
DCNO 0 *
NDNO 0
DEXT NO
ANTK
SIGO STD
TIMR ICF 512
  OGF 512
  EOD 13952
  NRD 10112
  DDL 70
  ODT 4096
  RGV 640
  GRD 896
```

ロード 14 : トランク・データ・ブロック

ロード 14 では、個々のトランクを作成します。トランクを作成するには、次を実行します。

- トランクをルート グループに割り当てます。
- 開始/停止の取り決めを設定します。
- トランク レベルでアクセスします。

次の例に、いくつかのトランクのプリントアウトを示します。

例 1

```
TYPE RDB
CUST00
ROUT 19
TKTP TIE
ESN NO
CNVT NO
SAT NO
RCLS EXT
DTRK YES
DGTP PRI
ISDN YES
  MODE PRA
  IFC D100
  SBN NO
  PNI 00000
  NCNA YES
  NCRD YES
  CHTY BCH
  CTYP UKWN
  INAC NO
  ISAR NO
```

TGAR 0
PTYP PRI
AUTO NO
DNIS NO
DCDR NO
ICOG IAO
SRCH LIN
TRMB YES
STEP
ACOD 5719
TCPP NO
TARG (blank = 0, no restrictions)
BILN NO
OABS
INST
IDC NO
DCNO 0 *
NDNO 0
DEXT NO
ANTK
SIGO STD
TIMR ICF 512
 OGF 512
 EOD 13952
 NRD 10112
 DDL 70
 ODT 4096
 RGV 640
 GRD 896

例 2

TYPE RDB
CUST00
ROUT 19
TKTP TIE
ESN NO
CNVT NO
SAT NO
RCLS EXT
DTRK YES
DGTP PRI
ISDN YES
 MODE PRA
 IFC D100
 SBN NO
 PNI 00000
 NCNA YES
 NCRD YES
 CHTY BCH
 CTYP UKWN
 INAC NO
 ISAR NO
 TGAR 0
PTYP PRI
AUTO NO
DNIS NO
DCDR NO
ICOG IAO
SRCH LIN
TRMB YES
STEP
ACOD 5719

TCPN NO
TARG (blank = 0, no restrictions)
BILN NO
OABS
INST
IDC NO
DCNO 0 *
NDNO 0
DEXT NO
ANTK
SIGO STD
TIMR ICF 512
 OGF 512
 EOD 13952
 NRD 10112
 DDL 70
 ODT 4096
 RGV 640
 GRD 896

例 3

TYPE RDB
CUST00
ROUT 19
TKTP TIE
ESN NO
CNVT NO
SAT NO
RCLS EXT
DTRK YES
DGTP PRI
ISDN YES
 MODE PRA
 IFC D100
 SBN NO
 PNI 00000
 NCNA YES
 NCRD YES
 CHTY BCH
 CTYP UKWN
 INAC NO
 ISAR NO
 TGAR 0
PTYP PRI
AUTO NO
DNIS NO
DCDR NO
ICOG IAO
SRCH LIN
TRMB YES
STEP
ACOD 5719
TCPN NO
TARG (blank = 0, no restrictions)
BILN NO
OABS
INST
IDC NO
DCNO 0 *
NDNO 0
DEXT NO
ANTK

SIGO STD
TIMR ICF 512
OGF 512
EOD 13952
NRD 10112
DDL 70
ODT 4096
RGV 640
GRD 896

例 4

TYPE RDB
CUST00
ROUT 19
TKTP TIE
ESN NO
CNVT NO
SAT NO
RCLS EXT
DTRK YES
DGTP PRI
ISDN YES
MODE PRA
IFC D100
SBN NO
PNI 00000
NCNA YES
NCRD YES
CHTY BCH
CTYP UKWN
INAC NO
ISAR NO
TGAR 0
PTYP PRI
AUTO NO
DNIS NO
DCDR NO
ICOG IAO
SRCH LIN
TRMB YES
STEP
ACOD 5719
TCPP NO
TARG (blank = 0, no restrictions)
BILN NO
OABS
INST
IDC NO
DCNO 0 *
NDNO 0
DEXT NO
ANTK
SIGO STD
TIMR ICF 512
OGF 512
EOD 13952
NRD 10112
DDL 70
ODT 4096
RGV 640
GRD 896

トランク情報を印刷するには、この例を使用します。

```
TYPE RDB
CUST00
ROUT 19
TKTP TIE
ESN NO
CNVT NO
SAT NO
RCLS EXT
DTRK YES
DGTP PRI
ISDN YES
    MODE PRA
    IFC D100
    SBN NO
    PNI 00000
    NCNA YES
    NCRD YES
    CHTY BCH
    CTYP UKWN
    INAC NO
    ISAR NO
    TGAR 0
PTYT PRI
AUTO NO
DNIS NO
DCDR NO
ICOG IAO
SRCH LIN
TRMB YES
STEP
ACOD 5719
TCPP NO
TARG (blank = 0, no restrictions)
BILN NO
OABS
INST
IDC NO
DCNO 0 *
NDNO 0
DEXT NO
ANTK
SIGO STD
TIMR ICF 512
    OGF 512
    EOD 13952
    NRD 10112
    DDL 70
    ODT 4096
    RGV 640
    GRD 896
```

ロード 86 : 電子スイッチド ネットワーク

ロード 86 では、オーバーフロー発信トラフィックを設定します。たとえば、受信と発信用に 1 つずつ、複数の PRI がある場合は、1 つ目の PRI が使用されているときには 2 つ目の PRI を使用するよう発信コールを設定できます。

この例では、ルート リスト インデックスを示します。

```
TYPE RDB
```


CUST00
ROUT 19
TKTP TIE
ESN NO
CNVT NO
SAT NO
RCLS EXT
DTRK YES
DGTP PRI
ISDN YES
MODE PRA
IFC D100
SBN NO
PNI 00000
NCNA YES
NCRD YES
CHTY BCH
CTYP UKWN
INAC NO
ISAR NO
TGAR 0
PTYT PRI
AUTO NO
DNIS NO
DCDR NO
ICOG IAO
SRCH LIN
TRMB YES
STEP
ACOD 5719
TCPP NO
TARG (blank = 0, no restrictions)
BILN NO
OABS
INST
IDC NO
DCNO 0 *
NDNO 0
DEXT NO
ANTK
SIGO STD
TIMR ICF 512
OGF 512
EOD 13952
NRD 10112
DDL 70
ODT 4096
RGV 640
GRD 896

CallManager と Nortel PBX 間の新しい PRI 回線の設定

TYPE RDB
CUST00
ROUT 19
TKTP TIE
ESN NO
CNVT NO
SAT NO
RCLS EXT
DTRK YES
DGTP PRI
ISDN YES

MODE PRA
IFC D100
SBN NO
PNI 00000
NCNA YES
NCRD YES
CHTY BCH
CTYP UKWN
INAC NO
ISAR NO
TGAR 0
PTYP PRI
AUTO NO
DNIS NO
DCDR NO
ICOG IAO
SRCH LIN
TRMB YES
STEP
ACOD 5719
TCPP NO
TARG (blank = 0, no restrictions)
BILN NO
OABS
INST
IDC NO
DCNO 0 *
NDNO 0
DEXT NO
ANTK
SIGO STD
TIMR ICF 512
OGF 512
EOD 13952
NRD 10112
DDL 70
ODT 4096
RGV 640
GRD 896

[関連情報](#)

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)